

視察（研修）報告書

令和 5 年 10 月 18 日

府中市議会議長 様

会派名又は 公明党
議 員 名 大本 千香子

日	時	2023 年 10 月 16 日(月)
視 察（ 研 修 ） 先		愛知県豊田市 豊田市役所
視 察（ 研 修 ） 項 目		中山間地域におけるたすけあいプロジェクト
参 加 者		大本千香子 加島広宣
視 察（ 研 修 ） 内 容		中山間地域における高齢者の移動支援の取り組みを伺う。 豊田市地域公共交通計画にはコミュニティーバスおいでんバス活用で交通手段と位置付けている。 中山間地域での地域交通支援は里モビリティの活用で高齢者の移動手段を支援している。
所 感		たすけあいプロジェクトにおいては 70 歳以上の元気な高齢者を対象に人感センサーによる見守り支援の活用は府中市での導入も必要と感じた。また、通院や買い物の移動支援する助け合いカーの提供などの取り組み、その支援策としてボランティアドライバーを募集して里モビリティコムスを運転することで高齢者を同乗させ、移動手段の手助けしているとあったが、実態は登録会員数の減少や、ボランティアドライバーの担い手不足等など多くの課題があるようで、地域の盛り上がりがないように感じた。また里モビリティの生産コストは一台当たり 80 万円とあったが、この里モビリティコムスをだれが管理して事業運営をするのか等の問題もある。このプロジェクト事業の推進は市の積極的関与が必要と思えた。良かった点はコムスの利用料金は法的に自家用自動車有償ができないので利用ポイントの目安を作るなど、ポイント制度の導入でガソリン代などの補填をしている事にアイデアを感じた。

視察（研修）報告書

令和 5 年 10 月 18 日

府中市議会議長 様

会派名又は
議員 名 公明党
大本 千香子

日 時	2023 年 10 月 17 日(火)
視 察（ 研 修 ） 先	愛知県名古屋市 西山商店街
視 察（ 研 修 ） 項 目	商店街の再生、魅力向上事業
参 加 者	大本千香子・加島広宣
視 察（ 研 修 ） 内 容	西山商店街の沿革 昭和 36 年西山団地の造成に合わせて作られた商店街で全長 100 メートルの小さな商店街であった。昭和 40 年ごろ最盛期を迎えるが今やシャッター通りとなっていた。 現在では近隣には大型マンションが建設され人口も増加し西山小学校生徒数 1200 名、学区 7500 世帯になった。 店舗数減少により組合解散を余儀なくされている中、商店街の再生に取り組まれた。
所 感	ニシヤマナガヤは先進事例としてメディアにも取り上げられているが、近隣に大型マンション建設で人口増加がありこのような事業展開は大いに勝機があると感じた。 中山間地域での人口減少、少子高齢化の府中市では参考事例とはならないが、まちの分析やアイデアの種を発掘することなどや外部人材（若手事業者、建築家、学生）の活用で新しい店舗づくりチームを結成といった商店街の空き家店舗を魅力ある形にして開けていこう、商店街全体の活性化をして外からの人と繋がる開かれた場所にしていこうとする人のつながりや思いが大切であると感じました。

視察（研修）報告書

令和 5 年 10 月 18 日

府中市議会議長 様

会派名又は
議員 名 公明党
大本 千香子

日	時	2023 年 10 月 17 日(火) 13：50～
視 察（ 研 修 ） 先		名古屋市港区港明 1 丁目 12・20
視 察（ 研 修 ） 項 目		名古屋市港防災センター視察
参 加 者		大本千香子・加島広宣
視 察（ 研 修 ） 内 容		名古屋市港防災センター施設に伺い、施設の見学と体験をいたしました。
所 感		昭和 34 年の伊勢湾台風接近の様子再現や、南海トラフ巨大地震発生時の津波のシミュレーション映像を 3D 映像と音響・照明等の演出で知ることが出来ました。 地震体験室では、震度 7 の大きな揺れを体験するとともに、適切な初期行動が学べました。 煙避難体験室では、火災発生状況の中での、煙の特性を理解し、的確な判断に基づく避難姿勢や避難方法が体験できました。 地震や台風などの自然の巨大な力に対して、現代の文明がいかにもろく、それに依存する私たちの生活が、いかに壊れやすいものであるか理解できました。 いま、南海トラフ巨大地震の発生が懸念され、地震対策は各方面で積極的に推進されているが、地震にかぎらず、災害は日頃の備えが何よりも大切なことであり、いざという時に備えて市民一人ひとりが、災害の実態を正しく知り、それに対処する方法を身につけておかねばならないと感じました。

視察（研修）報告書

令和 5 年 10 月 18 日

府中市議会議長 様

会派名又は 公明党
議 員 名 大本 千香子

日	時	2023 年 10 月 18 日(水)
視 察（ 研 修 ） 先		一般社団法人 SOFIX 農業推進機構、立命館大学
視 察（ 研 修 ） 項 目		SOFIX 農業における土壌づくりについて
参 加 者		大本千香子・加島広宣
視 察（ 研 修 ） 内 容		化学肥料や農薬に頼らない有機農業の推進のため、良い土づくりをおこなう。そのカギとなる土の中にいる微生物の状態を知る。その為最新技術で土を診断し、必要な肥料を処方することで有機農業を効率的にできるものに変えていく取り組みをおこない農業に適した土壌づくりをしていく。
所 感		環境にやさしい有機農業の推進は食の安全保障につながり、有機農業への転換は政治の力が必要である。従って、久保先生の 100%食料自給率の実現は政府の脱輸入の決断以外は 100%不可能である。この SOFIX 分析の利用は府中市の堆肥センターにも適用できると思われる。そのためには産官学の条件整備が必要である。府中市の農業振興で稼ぐ農業の一案として SOFIX 分析土壌を製品化し販売することも考えられる。すでに青森県、奈良県の自治体では活用例があると伺った。今後は民間企業なども SOFIX 分析に参入する可能性もあると感じた。府中市の積極的な農業政策で稼ぐ農業の実現に向けた取り組みが必要である。府中出身でもある久保先生と連携されてはどうかと思いました。